

ドラッグインフォメーション

2020年4月改訂

販売名	マクロゴール軟膏「ヨシダ」			製造販売	吉田製薬株式会社	
局方名	日本薬局方 マクロゴール軟膏			発売年月	2010年11月	
洋名	Macrogol Ointment			薬価収載年月	2010年11月19日	
一般名	マクロゴール軟膏			薬価	10g 27.90	健保適用
剤形	軟膏剤	規制区分	普通薬 局方	日本標準商品分類番号	877123	
厚生労働省薬価基準収載医薬品コード		7123700M1130		YJコード	7123700M1130	
性状	本剤は白色で、僅かに特異なおいがある。					
組成	本剤 1000g中、マクロゴール 4000 を 440g、マクロゴール 400 を 560g 含む。					
用途	軟膏基剤として調剤に用いる。また、皮膚保護剤として用いる。					
配合変化	ヨウ素、タンニン酸、フェノール、サリチル酸では液化が起こる。スルファミン、クリサロビン、水銀製剤とサリチル酸の混合物では着色するが、効力には変化がない。またペニシリン、バシトラシンは速やかに不活化される。					
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・本剤は約 52℃で融ける。 ・皮膚面から吸収されることはほとんどない。ほかの基剤に比べ刺激は少ないが、乾燥した皮膚には刺激を与える。 ・ほとんど白色無臭の、油脂様外観と触感を有する水溶性の軟膏基剤で、他の薬品との混和性がよく冷却による固化が速やかなため、冷却中に薬品を分離することがない。 ・吸湿性が大きく、皮膚面の水性分泌物を吸収して除く力が強いので、特に漿液性びらんにも有効である。 ・水溶性であるから皮膚面からの洗去も容易で、衣服寝具を汚さない。 ・ワセリン基剤に比べて主薬の皮膚面からの吸収が良い。 ・本基剤は水に溶けるため 3%以上の水を加えて軟膏とすることができない。しかし、セタノールを 5%添加すると、水溶液は 10%、エタノール溶液は 5%まで混和できる。 <p>貯法：気密容器に入れ、室温保存</p> <p>包装単位：500g</p>					
文献	吉田製薬株式会社 学術部					
請求先	東京都中野区中央5-1-10					